

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を新規に開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

● [5719] アディポネクチン《LA》

※本検査の受託に伴い、下記の項目を平成21年12月29日をもって受託中止とさせていただきます。

[7226] アディポネクチン《EIA》

### 受託開始日

● 平成21年10月1日(木)

## アディポネクチン

アディポネクチンはランダムシーケンス解析により脂肪組織に最も高く発現するAdipose most abundant gene transcript 1 (apM1)の遺伝子産物として発見されました。作用として、血管内皮細胞への単球の接着抑制や、マクロファージにより引き起こされるTNF- $\alpha$ 産生抑制などの抗炎症作用を持つほかに肝臓と骨格筋に働き、糖の取り込みや脂肪の燃焼を起こすAMPキナーゼを活性化させます。内臓脂肪の増加によりアディポネクチンの血中濃度が低値となり、メタボリックシンドロームの進展に関与しているといわれています。

また、アディポネクチンは体格指数(Body Mass Index:BMI)と逆相関することが良く知られています。しかし、もともと痩せている人は、内臓脂肪が増加しても適正体重と錯覚してしまう可能性もあるため、正確な健康管理を行う面からもアディポネクチンは有用な情報を与えてくれると考えられます。

本検査はLA法により低分子量型、中分子量型、高分子量型の全ての型を認識する抗体を用い、総アディポネクチン量として測定致します。

### 検査要項

項目コード	5719
検査項目名	アディポネクチン
検体量	血清またはEDTA血漿 0.4mL
保存方法	凍結
検査方法	LA(ラテックス凝集比濁法)
基準値(参考値)	4.0 $\mu$ g/mL 以上
所要日数	2~8日
検査実施料/判断料	未収載
定価	5,000円

### 参考文献

船橋 徹：循環器専門医 14：353-361, 2006.